

令和7年12月

各高等学校校長 殿

福島市太田町13番17号

一般財団法人 福島民報教育福祉事業団

理事長 花 見 政 行

民報奨学生推薦のお願い

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、福島民報教育福祉事業団は、このたび令和8年度の民報奨学生を募集する運びとなりました。

県土発展の力となる若手人材育成を目的に、昭和56年に設立され、第1回から数えると今回で45回目になります。令和7年度までに支給した奨学金の総額は、408名に対し2億3,740万円にのぼります。

民報奨学生の募集要項、及び当事業団の概要は別記の通りです。奨学金給付の有効かつ公平を期すため、希望者の申し出により学校で適格であると認めた生徒を奨学生にご推薦賜りたく、お願い申し上げます。

なお、希望者が多数の場合は、当事業団の選考委員会で選考させていただきますので、あらかじめご了承ください。

謹 白

民 報 奨 学 生 推 薦 要 項

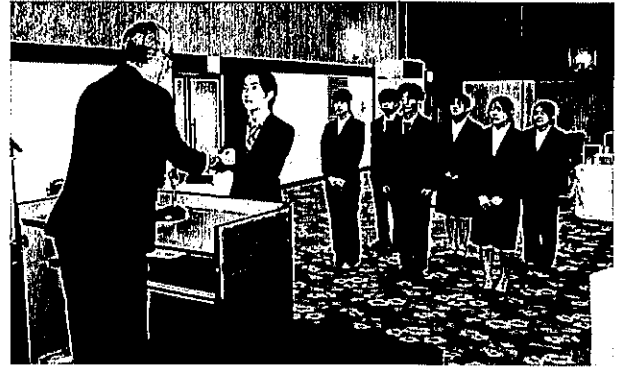
1. 資 格 福島県内の高等学校を卒業し、令和8年4月に大学(短大・専門学校を含む)に進学する方のうち、成績・操行ともに優秀で、経済的に恵まれない福島県内在住者の子弟。また卒業後、福島県内の企業に就職するなど郷土の発展に寄与し、社会的貢献をする意欲のある方。
2. 給付額と給付期間

(イ) 大学(4年制以上)	入学年度	20万円
	2 学 年	20万円
	3 学 年	20万円
	4 学 年	20万円
(ロ) 短期大学	入学年度	20万円
	2 学 年	20万円
(ハ) 専門学校	入学年度	20万円
	2 学年以降は修学期間に 応じて20万円ずつ	

※給付を受けた奨学資金は返還を要しない。
また休学、留年中は給付期間に含まない。
3. 給 付 方 法 毎年6月下旬までに給付する。※他の奨学金との併用可。
4. 採 用 人 員

(イ) 大学(4年制以上)	若干名
(ロ) 短期大学	若干名
(ハ) 専門学校	若干名
5. 推 薦 方 法 別紙所定用紙(第1号様式・第2号様式)に記入の上
 - ① 3 学年間の成績証明書
 - ② 在校中最終の健康診断書写し
 - ③ 進学先の合格通知書の写し
 - ④ 進学先の在学証明書(入学後4月30日までに提出)
 - ⑤ 所得のある同居家族全員の令和7年度所得証明書
※祖父母の年金収入等も含む
 以上の書類を添付し、下記送付先まで郵送のこと。
6. 推 薦 期 限
 - ①②③⑤については令和8年4月3日(金)当日消印有効。
 - ④については、進学先に入学後、本人からの提出でよい。
 ただし、遅くとも4月中には事業団に送付すること。
7. 送 付 先 ☎960-8068 福島市太田町13番17号 民報ビル 6F
一般財団法人 福島民報教育福祉事業団 ☎(024)531-4191
8. 選 考 5 月中に選考委員会を開催し、奨学生採用者を決定、本人に通知する。

花見理事長から目録を受ける奨学生(右)



7人に奨学金贈る

民報教育福祉事業団が交付式

福島

福島民報
教育福祉事

業団の民報奨学生への
奨学金交付式は19日、
福島市の民報ビルで行
われ、7人に奨学金を
贈呈した。

花見政行理事長が
「それぞれの学校で存
分に勉学に励み、自分
の夢や進路に向かって
精進してほしい」とあ
いさつした後、一人一

人に目録を手渡した。
奨学生は目指す進路を
それぞれ語り「奨学金
を活用し、日々の学び
に励んでいきたい」な
どと抱負を述べた。選
考委員も励ましの言葉
を贈った。

大学、短大、専門学
校に今春進学した学
生が対象で今回が44
回目。県内の高校か
ら推薦を受けた32人

が応募した。奨学生は
各学校の履修年限の
間、1人当たり年20万
円を受ける。奨学生は
今回の7人を含め4
08人、支給総額は2
億3740万円になっ
た。

奨学生は次の通り。
(かっこ内は出身校と
進学先)

田中大貴(原町、会津大
コンピュータ理工学部) 紺
野美羽(磐城、新潟大法學
部) 岩淵優大(会津、新潟
大工学部) 小山拓希(福島、
東京大理科一類) 野崎彩香
(学芸石川、福島大人間発
達文化学類) 佐藤花耶(福
島西、福島大人間発達文化
学類) 高崎真希(岩瀬農、
太田看護専門学校)